



Institute of Labor Education & Culture

## 通信 No.52

2019年1月15日

編集・発行：公益社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：木村裕士専務理事

### 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中、皆様方には（公社）教育文化協会に対するご支援・ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。また、本年が皆様方にとってさらに良い年となりますよう祈念いたします。

昨年6月末から7月上旬にかけて、西日本を中心に広い地域で豪雨が発生いたしました。河川の氾濫や土砂崩れが相次ぎ、平成最悪の水害をもたらしました。その後も、記録的な猛暑や大型で強い台風の到来が、被災された皆さんのくらしや復旧に向けた活動に大きな影響を及ぼしました。こうした自然災害の脅威と向き合っていくためには、防災の取り組みを強化するとともに、国民全員が支え合い、助け合う意識を持つ必要があることを改めて強く感じました。

さて、「働き方改革関連法」が昨年6月29日に成立し、本年4月より順次施行されます。罰則付きの時間外労働の上限規制などが導入される一方、長時間労働を助長しかねない「高度プロフェッショナル制度」の創設が盛り込まれました。私たちは、働く者の立場から、この法律が職場の安心・安全に繋がるものであるかどうかをしっかりと見極めていかなければなりません。

連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けては、働くことやワークルールについて社会全体で理解・共有できる「労働文化」づくりが不可欠です。当協会は本年も、若者に対する労働教育を目的として19大学で開講している「連合寄付講座」の充実をはかります。連合寄付講座につきましては、当協会が運営する5大学（同志社大学・一橋大学・埼玉大学・法政大学・中央大学）に加えて、14の地方連合会が、それぞれの地域の特色を活かした地方連合会寄付講座を開講しています。今後もその裾野をさらに広げられるよう、新規開設に関する要請・要望にしっかりと応えていきます。

2001年に開講した「Rengoアカデミー・マスターコース」につきましては、第18回までに433名が受講しています。プログラムのさらなる充実をはかり、連合運動の次代を担うリーダーの育成に努めていきます。あわせて、「幸せさがし文化展」や「私の提言」などの文化事業につきましても、より多くの方から応募いただけるよう、連合やその構成組織、関係団体などと連携をはかり、積極的に展開していきます。

さらに、公益社団法人として、公益目的事業を展開していることから、会員のみならずより多くの皆様にご参加いただけるよう、発信力を高めていきたいと考えています。

当協会は引き続き、社会の共感を呼び、共に学び合える事業を推進してまいります。皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



理事長 南雲 弘行

# Rengoアカデミー第18回マスターコース開講

～約1年におよぶプログラムがスタート！～

Rengoアカデミー第18回マスターコース（校長：神津里季生連合会長）が2018年11月18日（日）に開講し、MELONDIAあざみ野で開講式を行いました。

主催者を代表して南雲弘行理事長が挨拶し、「組合リーダーとして必要な知識を身につけるとともに、異なる組織から派遣されている者同士で積極的に議論し、交流を深めて欲しい」と伝えました。

つづいて、神津里季生Rengoアカデミー校長、中村圭介教務委員長（法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授）から、受講生に対する激励のメッセージが送られました。

最後に、国公連合の田村史生さんから、受講生24名（男性21名、女性3名）を代表して決意表明が行われました。



開講式の後、5泊6日の前期合宿がスタートしました。受講生は、幅広い領域・分野の講義（下表①）を受けるとともに、グループワークを通じて活発な意見交換を行いました。講義後は5つのゼミナール（下表②）に分かれ、夜遅くまで熱心に議論を交わしました。受講生は今後、必修ゼミで自身の課題認識を掘り下げ、後期合宿（2019年5月12日～17日）で修了論文の構想について発表する予定です。

7月の修了論文提出・9月の修了式まで約1年にわたるプログラムとなりますが、派遣いただいている各組織におかれましては、受講生への温かいご協力・ご支援をお願いいたします。

11/18(日)



▲連合会長による課題提起  
講師：神津校長  
CN：中村教務委員長

11/19(月)



▲労働運動の歴史を学ぶ  
講師：高木副校長

11/21(水)



▲連合運動について議論  
講師：連合山根木総合局長  
CN：中村教務委員長

11/23(金)



▲リーダーの経験談から学ぶ  
講師：トヨタ自動車労働組合 東顧問  
CN：高木副校長

## ①Rengoアカデミー第18回マスターコース・前期合宿の内容

講義日	科目	講師氏名
11/18 (日)	論文のまとめ方	高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長
	連合の役割・行動Ⅰ - 連合運動における自らの役割	神津里季生 連合会長 中村 圭介 Rengoアカデミー教務委員長
11/19 (月)	アサーティブ・トレーニング	森田 汐生 アサーティブ・ジャパン代表
	歴史からみた労働組合の役割	高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長
11/20 (火)	「安心社会」への戦略を考える	宮本 太郎 中央大学教授
	グローバル経済と労使関係	田端 博邦 東京大学名誉教授
11/21 (水)	連合組織強化の課題	山根木晴久 連合総合組織局長 中村 圭介 Rengoアカデミー教務委員長
	労働法の基礎	浜村 彰 法政大学教授
11/22 (木)	ジェンダーと労働	神尾真知子 日本大学教授
	賃金の基礎	石田 光男 同志社大学教授
11/23 (金)	人材活用と人事管理の課題	橋元 秀一 國學院大學教授
	組合リーダーに聞く	東 正元 トヨタ自動車労働組合顧問 高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長

## ②ゼミナールの内容

担当教員・テーマ
<b>禹ゼミ</b> 禹 宗杭 埼玉大学教授 グローバル化と日本の労働組合
<b>木本ゼミ</b> 木本 喜美子 一橋大学名誉教授 少子高齢社会のなかの人間と労働組合
<b>毛塚ゼミ</b> 毛塚 勝利 法政大学大学院 連帯社会インスティテュート客員教授 労働法と労働組合
<b>高木ゼミ</b> 高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長 経済・産業と労働組合
<b>橋元ゼミ</b> 橋元 秀一 國學院大學教授 企業・職場と労働組合

## 第13回「労働法講座」(基礎コース)を開催



2018年11月26日(月)～27日(火)、連合会館において第13回「労働法講座」(基礎コース)を開催し、連合構成組織・地方連合会・関係団体などから38名が参加しました。

初日は、冒頭に木村裕士専務理事が開会の挨拶を述べた後、野川忍 明治大学法科大学院教授から労働法の必要性・役割と全体像、労働基準法、労働契約法、労働安全衛生法などについて講義いただきました。

2日目は森戸英幸慶應義塾大学法科大学院教授から労働組合法、男女雇用機会均等法、非正規労働者の法政策などを講義いただき、最後に、内田厚連合副事務局長が不払い残業を巡る事例や同一労働同一賃金の取り組み、そして連合のAction! 36の取り組みを紹介しました。

今年も秋に労働法講座(基礎コース)を開講する予定ですので、皆さんの参加をお待ちしています。



▲野川教授



▲森戸教授



▲連合内田副事務局長

### 受講者アンケートより

- ◇非常に充実した内容で大変勉強になった。また、すぐに実践できる内容だった。
- ◇具体的な事例や判例などにも触れながら説明していただいたので、よく理解できた。
- ◇労働法の重要性、連合の取り組みの重要性をそれぞれ理解できた。
- ◇労働組合の責任や権利、あるべき姿についても説明していただき身が引き締まる思いがした。
- ◇労働法講座で学んだことを組合員にもしっかり伝えていきたい。

## 「ワークルール検定2018・秋(初級)」を実施

ワークルールに関する知識を身に付けたいという社会的なニーズの高まりを受け、労働法に関わる一般的な知識の理解度について検定を行う「ワークルール検定」が、(一社)日本ワークルール検定協会の主催(厚生労働省・日本生産性本部が後援)で実施されています。

教育文化協会は、連合や中央労福協などとともに、本検定の運営に参画しながら、その展開・拡大に取り組んでいます。

2018年は、6月に続き11月23日(勤労感謝の日)に初級検定を全国12カ所で実施し、790名が受検し、内613名が合格しました。

次回の検定は、2019年6月9日(日)に初級と中級を実施する予定です。詳しくは下記ホームページをご覧ください(2019年3月上旬掲載予定)。

URL : <http://workrule-kentei.jp/>

Facebook : <https://www.facebook.com/workrulekentei/>

Twitter : <https://twitter.com/workrulekentei>



# 第11回 連合・ILEC 幸せさがし文化展

—働く仲間とその家族の公募展—

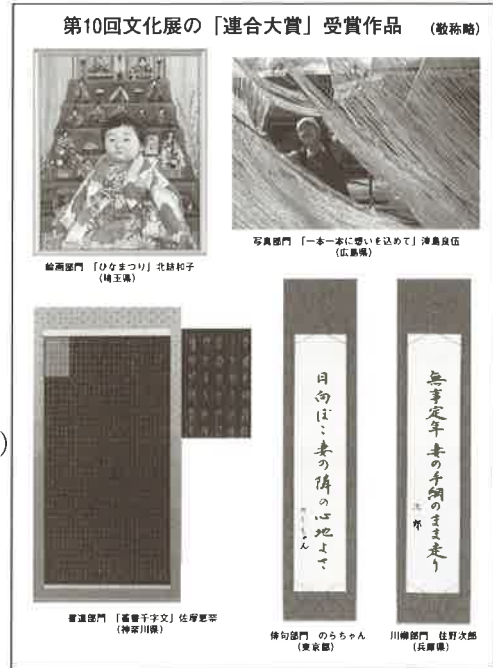
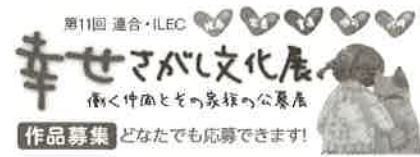
## 募集スタート!

いよいよ2月1日から絵画・写真・書道・俳句・川柳の部の募集が始まります。今回も「連合大賞」、「ILEC大賞」をはじめ、好評を得ている「ジュニア特別賞」（応募時年齢が15歳以下の方を対象）や「シニア特別賞」（応募時年齢が80歳以上の方を対象）、その他各賞を設けました。

また、写真の部では、プリント作品での応募の他、データ送信による応募が可能です。

どなたでも応募できます。組合員の皆さんやそのご家族、組合OB・OG、一般の方々など、是非お声がけの上、ふるってご参加ください。

- 募集期間 2月1日（金）～5月31日（金）（当日消印・受付印有効）
- 発表 7月1日（月）に入賞者をILECホームページで発表  
入賞者のみに7月上旬に書面で通知
- 作品展示 8月上旬にILECホームページに入賞作品全点を展示  
10月10日（木）～11日（金）新宿文化センター  
（連合第16回定期大会会場）  
10月下旬頃予定 NHKふれあいホールギャラリー
- 各賞 絵画・写真・書道（各部門）  
連合大賞・ILEC大賞各1名 賞状・賞金10万円  
シニア特別賞1名 賞状・賞金3万円  
ジュニア特別賞1名 賞状・図書カード3万円  
その他各賞  
俳句・川柳（各部門）  
連合大賞・ILEC大賞各1名 賞状・賞金5万円  
シニア特別賞1名 賞状・賞金3万円  
ジュニア特別賞1名 賞状・図書カード3万円  
その他各賞



詳しくは「募集要項」をご覧ください。

幸せさがし文化展 検索

大賞賞金 最高10万円

### 新刊紹介

教育文化協会は、2019年1月に明石書店より『アジア太平洋の労働運動 連帯と前進の記録』を刊行しました。  
本書は、アジアの労働運動を最前線でリードしてきた、鈴木則之先生ITUC-AP書記長が激動する歴史や社会情勢、政治的パワーゲームの中、命を懸けて創り上げてきた、連帯とアジア労働運動の真実を語る克明な記録です。  
5カ国・1地域の事情と2つの組織問題を取り上げながら、読者に労働運動のあるべき姿を問いかける1冊です。  
お求めの際は、全国の書店もしくは出版元の明石書店までお問い合わせください。

「アジア太平洋の労働運動 連帯と前進の記録」



鈴木則之著  
四六判二八八ページ  
本体二四〇〇円＋税

### <お詫びと訂正のお知らせ>

ILEC通信No.51（2018年10月31日発行）5ページ「定時総会・理事会を開催」の記事に誤りがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、以下の通り訂正いたします。

- 「公益社団法人教育文化協会 理事・監事・顧問一覧」  
・理事 塩田 正行 国際労働財団 常務理事

### 編集後記

お正月に食べるお雑煮ですが、味付けがすましか味噌か、お餅が丸か四角か、さらにそれを煮るか焼くかなど、地域や家庭によって色々違いがあるそうです。無病息災を願って今年もたくさん食べました。  
(こん太)